



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成25年9月30日



水消火器を使って消火模擬体験

消火器の使い方などを学ぶ

問屋町防災訓練

東日本大震災以降、企業の防災に対する意識が高まっているなか、組合では8月29日(木)に、初の試みとなる「問屋町防災訓練」を問屋町会館で開催。青森市役所危機管理課の藤本氏と坪氏を講師に招いて行われた同訓練には、組合員従業員39名が参加した。はじめに、問屋町会館駐車場において、消火器訓練や発電機の使用法についての説明を受けた。消火器訓練では、

消火器の基本操作のほか、使用できる火災の種類を示したラベルの見方、火の根元を狙うなどの使用方法を紹介。参加者全員で、薬剤の代わりに水を入れた消火器を使い、消火模擬体験も行った。その後、会館2階大会議室に場所を移動し、東日本大震災時の体験談を含めた、様々な災害に対する備えについて学んだ。

また、非常用持出リュックの中身については「荷物の重量は移動の負担にならないよう男性で15kg、女性なら10kg程度に抑えること。用意しておく荷物の中身の優先順位は、①水や食料、薬などの命にかかわる物②トイレレットペーパーなどのない困る物③十徳ナイフなどのあったらいいなと思う物の順番。また、あつたら重宝するのがホイッスル。建物の倒壊などで中に閉じ込められたり、瓦礫の下敷きになった時などの救助信号に使える。濡れても使えるよう、中に玉の無いものを用意してほしい」と説明した。



レターパックを手にする郵便局担当職員

当組合で受託運営している青森問屋町簡易郵便局が、6月に実施された「レターパックおかげサマーキャンペーン」期間中のレターパック販売額で、青森県管内の簡易郵便局94局中1位となった。また、東北管内でも627局中4位であった。

レターパックはA4サイズ、4kg以内であれば全国一律料金で送ることができるサービス。追跡サービスがあるので、郵便物の配達状況が確認でき、利用方法は、郵便窓口やコンビニなどの郵便切手類販売所(一部を除く)で専用封筒を購入し、荷物を入れ、切手を貼らずにポスト投函か郵便窓口まで持参するだけ。

青森問屋町簡易郵便局では記念切手など各種切手・印紙類の販売や、定額・定期貯金の預け入れ、通常貯金の口座開設申込みも受付けている。

また、手軽に利用できることから利用者が増加している。法人では請求書や報告書を送る際に、個人ではプレゼントやオークション商品の発送等に活用されている。

改めて防災について考えさせられた。「参加してよかった。もっと色々な話が聞きたい」と、非常に好評であり、来年度以降も引き続き開催できるよう計画していきたい。

組合では、災害時への備えとして防災訓練以外に、今年度中に防災ハンドブックを全従業員に対して配付する計画である。卸団地における避難場所や緊急時の対応を明記し、常に携帯できるように名刺サイズで作成。非常時における



毛布タンカ実演

青森問屋町簡易郵便局

問屋町防災ハンドブックの作成と承認 第4回理事会

第4回理事会が8月28日(水)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、大盛況のうちに終了した第21回問屋町納涼パーティーについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、卸商業団地機能向上支援事業特別委員会からの意見について

卸商業団地機能向上支援事業を活用した組合及び組合員施設の耐震診断の実施や、問屋町防災ハンドブックの作成

2組のカップルが誕生 第2回問屋町婚活パーティー

組合では福利厚生事業の一環として、団地内従業員の出会いの場を設けるべく、9月6日(金)に第2回婚活パーティーを開催した。

今回のパーティーでは、前回の参加者アンケートで要望が多かった、1対1で話ができる機会(ローリングトーク)を設けたところ、会話が弾み、終始和やかな雰囲気の中、パーティーは進んだ。パーティーの最後には、それぞれ意中

ビジネス会計について学ぶ 問屋町ビジネススクール特別講演会

問屋町ビジネススクールでは、8月30日(金)午後6時30分より、問屋町会館1階会議室において特別講演会を開催した。事業構想大学院大学の教授であり、あおもり立志



特別講演会

が承認された。

案件二、組合員の売買予約の完結及び所有権移転登記について

案件三、組合員の合併の承認について

案件四、既存組合員への土地売却について

案件五、倒産組合員の跡地処理について

案件六、平成25年度第5回理事会の日程等について

挑戦塾の塾長でもある天明茂氏を講師に招き、「今こそ学ぶ！会社を元気にするビジネス会計」と題した講演会は、組合員及び同スクール受講企業を対象に無料で開催。

天明氏は「事業を成功に導くには意思決定としてのビジネス会計の活用が欠かせない。例えば、値引率を1%改善できれば利益率は1%向上する。しかし、この値引率は厳密に管理している企業は非常に少ない。返品率の管理も同様に管理する必要がある」と語る。

また、現在話題となっているJALやパナソニックを例に挙げ「奇跡的再建で再上場したJALは社内を小集団グループに編成し、部門別に採算を求めた。パナソニックも中断していた事業部制を再び

の人をカードに記入し、今回は2組のカップルが誕生した。来年2月には20〜30代を対象としたパーティーを開催する予定であり、更に喜ばれるイベントになるよう計画を練っていく。

今回のパーティーでは、前回の参加者アンケートで要望が多かった、1対1で話ができる機会(ローリングトーク)を設けたところ、会話が弾み、終始和やかな雰囲気の中、パーティーは進んだ。パーティーの最後には、それぞれ意中



第2回婚活パーティー



大人気の吉見氏の講座

強み発見講座」や「仕事のダンドリの基礎の基礎」「断捨離講座」も追加された。

講座詳細やお申込みは、問屋町ビジネススクールのホームページから。
<http://business-school.tonya-machi.com>

- 31日 ▼ 中堅社員研修(フォローアップ)
- 30日 ▼ ビジネススクール特別講演会
- 30日 ▼ 問屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会
- 29日 ▼ 問屋町防災訓練
- 28日 ▼ 第4回理事会
- 27日 ▼ 安協問屋町支部第2回街頭指導
- 27日 ▼ 青銀金友会納涼会
- 23日 ▼ 県中央会地区別懇談会・懇親会
- 22日 ▼ 組合員昼食会
- 20日 ▼ 北日本流通VAN(株)第1回センター打合せ会
- 15日 ▼ 金融審査会
- 15日 ▼ 調整会議
- 8日 ▼ 第5回合同清掃
- 8日 ▼ 第2回問屋町従業員モニター会議
- 1日 ▼ 青森地区労働基準協会労務管理部役員会
- 1日 ▼ 第1回卸商業団地機能向上支援事業特別委員会
- 1日 ▼ 県中央会納涼会

業務報告 主要事項

『創業60周年を期に 会社名が変わりました』

光と風と思いやり 調和を求めて... (旧 工藤硝子株式会社)

株式会社 **KG** アンサンプル

〒030-0131 青森市問屋町1丁目5番11号

建物の不具合でお困りの皆様はこちらへ
0120-579-910

年中無休 受付時間 7:00~21:00

SINCE1906

- 計量器製造(経済産業大臣) ●計測器修理(青森県知事)許可
- 建設業登録 ●機械器具設置工事業(青森県知事)許可(般・21)第15046号
- 電気通信工事業(青森県知事)許可(般・21)第15046号

衛星測量(GPS)・計量器全般・気象観測機器・理化学機器
測量機械・光波距離計・各種試験機・地震観測機器・製図用機械

青森
株式会社 西衡器製作所

本社 〒030-0801 青森市新町二丁目6番20号 TEL (017) 773-1311 FAX (017) 723-2368
青森支店 〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目2番30号 TEL (017) 739-9555 FAX (017) 739-9557
八戸支店 〒039-1521 八戸市卸センター一丁目5番16号 TEL (0178) 21-8100 FAX (0178) 21-8101
弘前支店 〒036-8093 弘前市城東中央三丁目4番14号 TEL (0172) 26-3890 FAX (0172) 26-3891

問屋町たんしん

▽問屋町ハロウィンパーティー
組合では、昨年まで開催していた「問屋町従業員ふれあいパーティー」を、参加者からの意見を反映し、「問屋町ハロウィンパーティー」に名称を変更し開催します。
当日は、ぜひ、思い思いの仮装でご参加ください。なお、仮装なしでのご参加も可能です。

- ① 日 時 11月8日(金) 午後7時～9時
- ② 場 所 ホテル青森 3階孔雀の間
- ③ 参加料 1人2,000円
- ④ 募集人数 200名

▽第37回ボウリング大会

① 日 時 10月25日(金) 午後7時～9時
② 場 所 イーストボウル
③ 参加料 1人2,000円
④ 募集人数 90名
どちらもお申込み、お問合せは、卸センター業務部(☎738-4711)まで。



昨年のふれあいパーティー

ごみ分別強化月間終了

資源リサイクル率の更なる向上を目指し8月1日から実施した「ごみ分別強化キャンペーン」が8月31日で終了した。

ごみ収集及びリサイクル回収業者が、各組合員から収集する際に、ごみ等の排出内容をチェックしたところ、次のような状況であった。
ごみの混入や排出方法の不備等でチェックを受けたのが期間中延べ148件。内訳は「燃えるごみ」が32件、「燃えないごみ」で7件、「紙類リサイクル」で3件、「空き缶等リサイクル」では106

件と、「空き缶等リサイクル」が突出して多いことがわかる。「燃えるごみ」「燃えないごみ」で多かった不備はリサイクル品目の混入であった。「最も注意を多く受けた」「空き缶等リサイクル」の中で特に多かった不備が「ペットボトルのキャップの外し忘れ」。ペットボトル本体とキャップは違う素材であり、また、キャップが付いたままだと潰した時に空気が抜けないため、1つ1つ手作業で外しており、回収業者では非常に苦慮しているとのこと。
組合では今後も、リサイクル率向上を図るため、正しい分別・排出方法を周知徹底していく。

経済雑感 第五十一回

(株)青森銀行問屋町支店 支店長 松橋 義昭

前号に引き続き、(株)青森銀行問屋町支店の松橋支店長による経済雑感をお送りする。

前号では、食品を例に、価値・価格については述べたが、食品に関しては別の観点、廃棄問題について考えることも重要であろう。

毎日、大量の食品が消費される一方で、大量の食品が廃棄されている。政府広報資料によれば、日本国内の年間の食品廃棄量は食品消費量全体の約2割にあたる1,800万トン。このうち、売れ残り、期限切れ、食べ残しなど、本来食べられたはずの「食品」ロスは500～800万トン



(株)青森銀行 支店長 松橋 義昭 氏
問屋町支店

にもものぼる。これは、日本人1人あたりに換算すると、おにぎり11～2個が毎日捨てられている計算であり、世界中で飢餓に苦しむ人々に対する世界の食糧支援量である年間390万トンを大きく上回っているという。半分以上を輸入に頼らざるを得ない食料自給率からすれば、本来あつてはならない事象であり、「もの」を大切にしない「もったいない」精神を美德としてき

観の日本人の価値観の変化という点でも深刻な問題であろう。日本人は形や色などの見た目にはうるさいが、添加物などに関する知識は乏しいと言われる。曲がったり、大きくなり過ぎた「きゅうり」や「大根」は規格外となり売り場に出ない。着色料や保存料

をふんだんに使い、見た目鮮やかな黄色で消費期限の長い「たくあん」でないと売り場に出ない。すべて消費者の購買動向に合わせた結果である。消費者だけの問題ではなく、モノ・サービスの売る側にも、もちろん努力は必要である。書店で、「100円のコーラを1,000円で

売る方法」という本が20万部を突破したとあつたので興味本位で購入した。高級ホテルのルームサービスで、最適の温度に冷やされ、タイムと氷がついた、この上なくおいしい状態で運ばれてきたコーラは、1,035円だったが、このおいしさなら安いと感じたという話が載っていた。大量仕入れで安価に販売する「プロダクトセリング」と、とことん

高めて売る「バリューセリング」を比較している話なのだが、値引き合戦に巻き込まれずに、付加価値を高めるやり方という点で参考になる話である。これからは、各業界が挙げて、あるいは各業界が連携して力を合わせて、日本の将来のために本当に大切なこと、真の価値とは何なのかを消費者に対して啓蒙し、日本人の価値観を正していくことが必要なのではないだろうか。

最過の温度に冷やされ、タイムと氷がついた、この上なくおいしい状態で運ばれてきたコーラは、1,035円だったが、このおいしさなら安いと感じたという話が載っていた。大量仕入れで安価に販売する「プロダクトセリング」と、とことん

サービス向上を図って価値を

件と、「空き缶等リサイクル」が突出して多いことがわかる。「燃えるごみ」「燃えないごみ」で多かった不備はリサイクル品目の混入であった。「最も注意を多く受けた」「空き缶等リサイクル」の中で特に多かった不備が「ペットボトルのキャップの外し忘れ」。ペットボトル本体とキャップは違う素材であり、また、キャップが付いたままだと潰した時に空気が抜けないため、1つ1つ手作業で外しており、回収業者では非常に苦慮しているとのこと。
組合では今後も、リサイクル率向上を図るため、正しい分別・排出方法を周知徹底していく。

お茶 伊藤園
青森支店 支店長 菊池 才技
青森支店 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3-6-35
TEL.017-739-5711 FAX.017-739-9742

KOSEKI コセキ株式会社
【事業内容】
●医療機器・システム・ネットワークの提案・販売・施工・メンテナンス
●情報・映像システム等企画・提案設計・施工・メンテナンス
●各種イベント・展示会での映像・音響機材のレンタル
青森営業所:青森市問屋町2丁目20番5号 TEL:(017)738-4506
<http://www.koseki.co.jp>

アマチュア無線技士養成課程講習会受講者募集中
取扱商品:アマチュア/業務無線・電子部品・家電品・パソコン
(株)電技パーツ
〒030-0113 青森市第二問屋町3-6-44
本店 017 (739) 5656 fax 017 (739) 5895

株式会社 小山 商会
青森出張所
青森市問屋町一丁目14-5
TEL(017)728-5680 FAX(017)728-5681
本社 仙台市青葉区花京院二丁目2番75号(小山ビル)
TEL 022(265)9701(代) FAX 022(265)7615
支店 仙台・東京・名古屋・大阪
営業所 札幌・青森・盛岡・郡山・北関東・筑波
千葉・静岡・京都・岡山・福岡
工場 本社・札幌・関東・静岡・中部・関西

組合員昼食会を開催

組合員の商品・サービスの紹介などを行う組合員昼食会が、8月22日(木) 問屋町会館で開催された。

はじめに、組合員の(株)ムラバヤシから、トイレの「和洋リモデル工法」について紹介があった。同社は、管工機材の販売を主に、現在、オフィスなどの和式トイレを「和洋リモデル工法」で洋風に改修することを勧めている。従来の改修工事では、改修する階だけでなく階下での工事が必要とし、工期が1週間程かかるなど、利用者は不便を強いられていた。



組合員昼食会

同社が推奨する「和洋リモデル工法」では、施工するのは改修する階のみ。工期もたった2日で済むため、土日でも工事を完了することも可能となる。同工法は鉄筋鉄骨コンクリート及び鉄筋コンクリート構造が対象で、TOTOが

特許を持ち、認定された店だけが施工できる。

次に、組合員の(株)問屋町カーサービスが、自社の概要と取扱サービスについて紹介。同社は、昭和49年に設立された自動車整備を行う会社で、問屋町一帯に抱える顧客の自動車メンテナンスを請け負っている。取扱いサービスは、車検や点検、車両販売やレンタカーの貸し出しなど自動車に関するあらゆる業務を行う。はねこ車から4トトラックにまで及ぶ。

同社が実施する車検及び法定12カ月点検などの際にチェックする項目について解説し、エンジンオイルなどの消耗品



自社取扱商品を紹介

の定期的な交換を勧めるなど、組合員に安全な自動車の使用を促した。最後に組合から、清掃用具の貸出や今後開催予定のハロウィンパーティー、問屋町ビジネススクールの平成25年度下期開催予定講座の紹介を行った。

組合員訪問

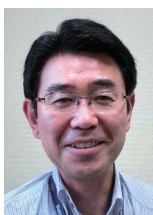
今月は、昨年10月に青森営業所長に就任した東芝電材マーケティング株式会社青森営業所の松澤所長にお話を伺った。

同社は電設資材の総合販売を行っている、大手電子機器メーカー東芝のグループ会社である。平成16年に全国の販売会社が再編されて設立し、来年10周年を迎える。

「当社の強みは3つあります。1つは、全国に張り巡らされた販売網です。現在、北は北海道から南は鹿児島まで、約130ヶ所に営業拠点をもち、お客様への迅速・丁寧な対応

を可能にしています。

2つ目は、2万アイテムを供給できる在庫システムです。当社は電球から灯台用照明まで、様々な電材を扱っています。千葉県柏市に物流センターがあり、ここが東日本全域をカバーし、発注日の翌日には商品を送っています。



東芝電材マーケティング株式会社 青森営業所 所長 松澤 聡 氏

3つ目は、コーディネート力です。当社は自由な発想力と豊富な商品知識を持つ優秀な社員が大勢います。住宅の設計や省エネ提案、地域社会のスマートグリッドまで、お客様にとって最適なプランを社員がコーディネートし、より早く提案することができま

と語った。

新たな取り組みとして、「来年から営業活動にタブレット端末が導入されます。これまでは、商品カタログなどの書類を大量に持ち歩いて営業していました。が、導入後は、端末一つ持てば

済むようになります。訪問先でお客様に情報をより具体的に提供することが可能になります」と教えてくれた。今一押しの商品はLED関連商品とのこと。以前に比べると値段が下がりがり、一般照明と値段が変わらないそうです。目標は「目指せ業界地域シェアナンバー1」と意気込んだ。

長く八戸に住んでいた松澤所長が青森に赴任し2年半。青森での生活について尋ねると、「津軽弁には苦労しました。最初の頃は、話しを集中して聞かないとわかりませんでした。単語もわからなかった。「ねっばって」とか。でも、津軽にはフレンドリーな人が多いです」と苦労を語った。また、「仕事柄、道を知らなければならぬので、部屋の壁に青森市内の地図を貼り、今日はここを通ったとか、こっちの方が近道なんじゃないとか、日々研究しています。今や地元の人より詳しいと思います」と自負した。

(51歳)

編集後記

今回団地内で初めて「問屋町防災訓練」を開催することができました。消火器を設置していない事業所は多分無いでしょうが、消火器の模擬体験をした従業員も多分に無かったと思います。▼災害時には経験のある無しが事故拡大を防ぐことに繋がります。組合では「問屋町防災訓練」を今後とも継続します。▼天啓教授(あおもり立志挑戦塾長)のビジネススクールの特別講演会「会社を元気にするビジネス会計」は経営幹部の皆さんには是非聞いて欲しかった内容深い講義でした。▼ビジネス会計とは管理会計と同義なのですが、稲森和夫さんのアメンバー経営にも通底するものがあり感銘を受けました。天明先生には今度は問屋町ビジネススクールに特別講座をお願いしたいと思っております。▼転話題。前回に引き続き健康寿命について。健康寿命とは、WHOの寿命指標で、一生のうち、健康で支障なく日常生活を送れる期間のことです。▼厚労省(平成22年)によると、日本男性の平均寿命79・55歳に対して健康寿命は70・42歳でその差9・13年です。女性は平均寿命が86・30歳で健康寿命が73・62歳でその差12・68年です。▼男性で健康寿命が最も長いのは愛知71・74歳で、最も低かった青森の68・95歳と比べると、2・79年の差があります。▼平均寿命と健康寿命の差の年月が、他人のお世話になる期間ということですが

(藤本)



BW-D10SV ビートウォッシュ 日立洗濯乾燥機



CV-SY7000 2段ノストサイクロン 日立サイクロンクリーナー

HITACHI Inspire the Next

日立コンシューマ・マーケティング(株)

東北支社青森支店

青森市第二問屋町四丁目1番14号 〒030-0113 Tel 017-752-6155(代) Fax 017-752-6156